

2025年06月17日（火曜日） 屋久島高校で登山指導を実施

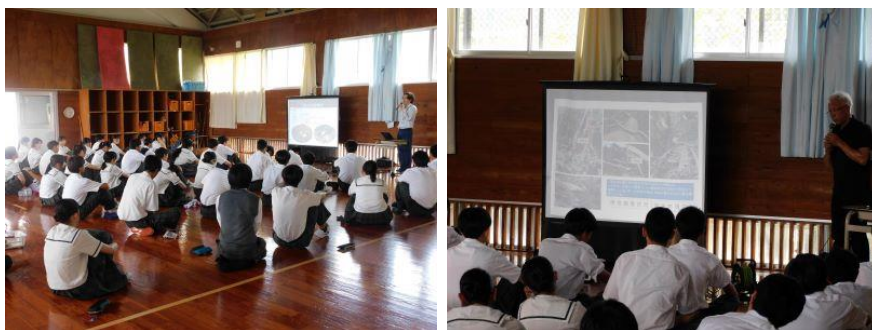
鹿児島県立屋久島高校において、7月に予定されている学校登山（太鼓岩）に向けて、1年生54名を対象として当保全センター職員による登山マナー等の事前指導を行いました。

学校登山の目的は、登山に対する心構えやマナーを再確認するとともに、郷土の優れた自然環境や自然と人間との結びつきを考え、環境保護に対する意識の高揚を図るものです。

今回の事前指導では、登山に関する基本的なマナーや注意点のほか、屋久島の自然や白谷雲水峡に自生している樹木の紹介、携帯トイレの利点や使用方法を解説し、当保全センター職員による携帯トイレ設置の実演も行いました。

最後に、令和6年8月の台風10号により倒伏した、弥生杉の当時の様子や現在の整備状況について説明を行いました。

事前指導を通じて、生徒たちの登山マナーの向上と自然環境保全への意識を高めることができたと考えています。



屋久島の自然について（左）、倒伏した弥生杉の説明（右）

2025年06月11日（水曜日） 幹事会及び検討の場の開催

令和7年度 屋久島世界遺産地域連絡会議 第1回幹事会及びヤクシカWG検討の場が、鹿児島森林管理署会議室において開催されました。

同日午前から第1回幹事会が開催され、（ア）令和6年度第2回科学委員会の議論の整理、（イ）屋久島世界遺産地域管理計画に基づく事業実績及び令和7年度の事業予定、（ウ）モニタリング調査の評価指標の検討等、（エ）その他について議論が行われました。

モニタリング調査については、地域連絡会議で計画は確定したものの、モニタリング項目Ⅱの外来生物等、具体的な調査内容や実施機関が決まっておらず、調査が始められないものもあり、科学委員会で議論した方がよいとの意見が出ました。

また、科学委員会の議題について、新たな議題ではないが、特定自然観光資源やし尿処理の適正化等、利用に関する資料を出してほしいとの要望があったため、他機関と相談し資料を作成したいと環境省からの説明がありました。

午後から開催された検討の場では、令和6年度の第1回ヤクシカ WG 合同会議における主な助言・意見等に対する今後の取組方向について確認・共有後、令和6年度取組状況及び令和7年度取組について、各行政機関から報告があり、意見交換が行われました。



幹事会（左）、検討の場（中）、ヤクシカによる湿原での採餌（右）